

令和5年度三重県沿岸種資源評価 スズキ



資源水準・動向

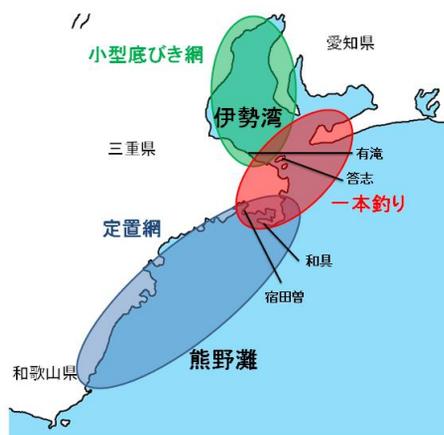
低位・減少

生物情報

- 産卵期は12～2月の冬季で、伊勢湾口から渥美外海沿岸域で産卵する。
- 満1歳で標準体長19cm程度、満2歳で27cm程度、満3歳で34cm程度、満4歳で40cm程度、満5歳で46cm程度、6歳で51cm程度となる。
- 強い肉食性で、成長とともに魚食性を強めるが、多毛類、エビ・カニ類などの底棲生物も広く捕食する。

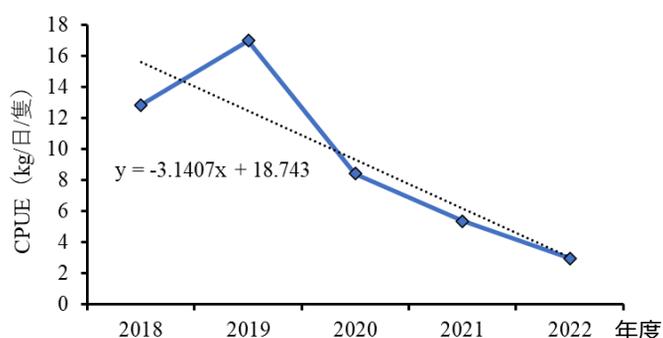
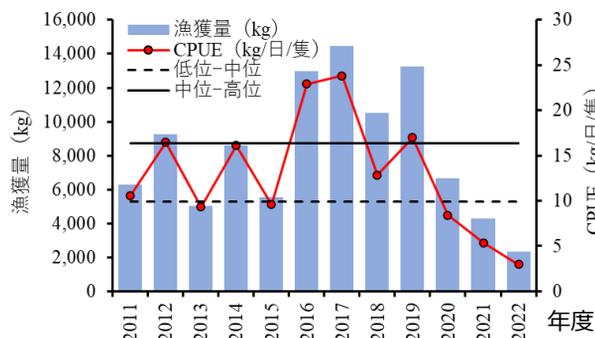
漁業の特徴

- 伊勢湾～湾口部での漁獲が多い。小型底びき網、定置網、一本釣り、刺網、船びき網などで漁獲される。
- 漁獲盛期は、伊勢湾内の小型底びき網が11月～4月、伊勢湾口の本一本釣りが1月～9月、熊野灘の定置網が12月～5月である。
- 伊勢湾内の小型底びき網では、マアナゴやクルマエビなどが夜操業で漁獲されるのに対し、スズキの多くは昼操業で漁獲される。



資源状態

- 志摩市和具地区の定置網(大型定置網, 小型定置網, つぼ網の合計)のCPUEから資源水準は「低位」とした。
- 志摩市和具地区の定置網の直近5年間のCPUEの推移から資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- 小型底びき網(まめ板)の定期休漁、操業日数の制限、数量制限

将来考えられる資源管理の取組

- 漁獲量制限の強化、小型魚の保護・再放流